

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
河原アイペットワールド専門学校		平成16年3月26日		石川 達也		〒790-0006 愛媛県松山市南堀端町6番地11 (電話) 089-935-8787																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人河原学園		昭和60年10月21日		河原 成紀		〒790-0001 愛媛県松山市一番町一丁目1番地1 (電話) 089-943-5333																							
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																						
文化・教養	文化・教養関係 専門課程	トリマー学科				平成30年3月	—																						
学科の目的	動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れ、動物管理の専門能力を持つとともに、ペット美容師として必要な美容知識・グルーミング技術の習得・習熟はもちろんのこと、動物看護基礎知識、しつけトレーニングの基礎など総合的に学習し第一線で活躍できる人材を育成し、地域社会の発展に貢献する。																												
認定年月日	平成26年3月31日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																						
2年	昼間	2100時間	600時間	150時間	1350時間	0時間	0時間																						
単位時間																													
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																								
80人	49人	0人	2人	4人	6人																								
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験、確認テスト、提出物、授業態度、実習態度、出席率などに基つき総合的に評価する																								
長期休み	■学年始:4月1日～7月31日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月7日 ■学年末:3月1日～3月31日			卒業・進級条件	・履修するすべての科目においてSABCいずれかの評価を得ること ・原則として出席率90%以上であること																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人、保護者への電話対応及び自宅訪問を実施。遅刻が目立つ学生には保護者面談を実施。			課外活動	■課外活動の種類 ドッグショーへの参加  ■サークル活動: あり																								
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(2020年度卒業生) ペットサロン、ペットショップなどの動物関連業界 ■就職指導内容 1年次より、動物業界理解のためのインターンシップ実習を実施し、2年次は就職を意識したインターンシップ実習を行っている。 ■卒業生数 18 人 ■就職希望者数 18 人 ■就職者数 18 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人  令和2年度卒業者に関する 令和3年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JKCTリマーライセンスC級</td> <td>③</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JKCTリマーライセンスC級	③	18人	18人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
JKCTリマーライセンスC級	③	18人	18人																										
中途退学の現状	■中途退学者 1名 令和2年4月1日時点において、在学者41名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者40名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更			■中退率 2.4%																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 ※特待生制度、AO入試特典、推薦特典、自己推薦特典、大学・短大・社会人特典、家族制度、再入学制度 ■専門実践教育訓練給付: (有)無 ※令和2年度の給付実績者数 3名																												
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有)無																												
当該学科のホームページURL	URL: www.kawahara.ac.jp/ipet/																												

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成においては、業界及び社会の変化やニーズ、在校生及び卒業生の仕上がり状況等の不断の組織的、継続的検証を行う必要がある。企業等から広く、具体的に意見を求め、高度で実践的な教育課程を編成するために、新たな授業科目の開設における連携はもちろんのこと、現存のシラバスやコマシラバスにまで落とし込める授業内容・方法の改善並びに教材開発につながる連携を行うことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校職業実践専門課程においてより実践的かつ専門的な高度職業教育を行う観点から、企業・業界団体等より業界における人材の専門性に関する動向や求められる知識・技術等について意見を聴き、これを踏まえてカリキュラムや教育方法の改善・工夫に組織的、継続的に取り組むことを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
永井 政人	高知食糧株式会社 ペット Step 余戸店	令和2年4月1日～令和3年3月31日	①
飯尾 昌彦	株式会社アイクコーポレーション 愛媛こまち編集部	令和2年4月1日～令和3年3月31日	②
井手 一夫	有限会社ペットサロン松山	令和2年4月1日～令和3年3月31日	③
石川 達也	河原アイペットワールド専門学校 校長		
中村 亮	河原アイペットワールド専門学校 教頭		
本多 祐剛	河原アイペットワールド専門学校 学科長		
三宅 祐加	河原アイペットワールド専門学校		
池内 祐翔	河原アイペットワールド専門学校		

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (前期後期終了後に各期総括として開催するため11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年11月19日 17:00～18:30

第2回 令和3年3月18日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

コロナウイルスの影響もあり、オンライン授業が増えた事から、対面でのコミュニケーションが取れない学生が増加した。授業内外共に面談やコミュニケーションの場を積極的に増やし、接客業において最も大事なコミュニケーション能力の向上を目指す。

1年次から就職の意識をしっかり持たせ、インターンシップの重要性を理解させる。

今後もオンライン化が続くと予想されるため、オンライン面接ガイドブックを作成し、マナーや話し方など授業で落とし込んでいく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携した実習等は、1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、2)さらには学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的に実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また学生能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めることとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

インターンシップ実習については、一定の評価基準を設定し企業によつての評価差が出ないように実習評価表を整備している。また、現場でのニーズなどを具体的に講義するよう依頼している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ実習Ⅰ	企業理解のための指定動物病院へのインターンシップ実習(1年次)	愛媛県内外の動物関連企業
インターンシップ実習Ⅱ	就職希望企業へのインターンシップ実習(2年次)	愛媛県内外の動物関連企業
グルーミング実習Ⅰ	ベーシック作業、部分カットを主体としたグルーミングの基礎を身につける	ペットショップパピヨン、ドッグサロンドギースマイル
グルーミング実習Ⅱ	トリミング全般、実技試験対策をおこない、グルーミングの中でもトリミングの技術を身につける	ペットショップパピヨン、ドッグサロンドギースマイル
コンピューター実習Ⅰ	ワードの基本的な操作方法を習得し、サーティファイワード3級資格取得を目指す。	アビリティセンター

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校の教員研修の基本方針は、1)各教員の専攻分野における実務に関する高度な専門知識・技術の修得、2)およびそれらを授業計画(カリキュラム、シラバス、コマシラバス)に落とし込む能力の修得、3)さらにはその研鑽を実際の授業運営に反映させる教育力の修得を目的として、教職員研修規程第2条に定める研修を受講させることとする。同規程第3条に定めるとおり、所属長及び法人本部総務部責任者は、各教員の実務専門性や教育力の組織的で継続的な向上に努めることとする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「愛媛県における愛護活動」(連携企業等:愛媛県動物愛護センター)  
 期間:5月7日 対象:河原アイペットワールド専門学校教員、動物看護・栄養管理学科1年生  
 内容:愛媛県における動物愛護活動や殺処分状況の講習を受講し、愛護活動取り組みについての意見交換を実施

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「河原学園新人研修」  
 期間:令和2年4月～8月 対象:2020年度新入社員対象  
 内容:専修学校制度、職業実践専門課程概要、第三者評価、職業教育のあり方、教育目標・科目目標の設定、シラバス・コマシラバスの作成、授業成果評価、就職サポート、自然災害発生時対応、アカハラ相談等、専門学校における教育活動全般に関する研修を実施する。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「サロントリマー検定指導項目研修」(連携企業等:全国動物専門学校協会)  
 期間:8月下旬 対象:河原アイペットワールド専門学校教員  
 内容:サロントリマー新基準講習と検定員資格認定見学会についての意見交換を実施

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「河原学園新人研修」  
 期間:令和3年4月～8月 対象:2021年度新入社員対象  
 内容:専修学校制度、職業実践専門課程概要、第三者評価、職業教育のあり方、教育目標・科目目標の設定、シラバス・コマシラバスの作成、授業成果評価、就職サポート、自然災害発生時対応、アカハラ相談等、専門学校における教育活動全般に関する研修を実施する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学全般の運営（経営、教育の現状、およびそれらの短・中・長期課題や方針、社会的責務など）について、学校関係者より意見を聴き、これを踏まえて学校運営の組織的、継続的な改善に取り組むことを目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか
(2) 学校運営	学校組織は明確に位置付けられ、各部署で役割分掌がなされているか
(3) 教育活動	コマシラバスには、その授業のキーポイントや授業の流れ、予復習のポイント、ポイントと関連する詳細な参考文献・資料などが具体的に記入されているか
(4) 学修成果	在籍率、休退学率、出席率、資格取得率について目標は明確に数値化されているか
(5) 学生支援	就職率実績の学内外の公開は、卒業年次5月1日在籍数を元に、休学者数、進学者数、卒業不可者数、無業者数などの内訳と共に示されているか
(6) 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）など
(7) 学生の受入れ募集	学生の受け入れ方針（アドミッションポリシー）は明示されており、公正かつ適切に学生募集及び入学者選考を行っているか
(8) 財務	財務について会計監査が適正に行われているかなど
(9) 法令等の遵守	学校教育法、私立学校法、専修学校設置基準などの重要な法律、省令をはじめ、学則や就業規則、その他規則・規程に基づき業務が執行されているか
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

一般的な計算・漢字などの基礎学力の向上についての取り組み・補習が必要と学内教務会議で判断された学生への補習体制の強化（専任教員が学科を横断し授業を担当することで担任へのサポートができる体制に改編した

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
木山 美樹		令和2年4月1日～令和3年3月31日	在校生保護者
高橋 祐太	風早ドッグトレーニング	令和2年4月1日～令和3年3月31日	卒業生
徳永 晴樹	松山東雲中学・高等学校 校長	令和2年4月1日～令和3年3月31日	高校教員
首藤 信樹	南堀端町内会 監事	令和2年4月1日～令和3年3月31日	地域の有識者
塚田 祐介	松山ほうじょう動物クリニック	令和2年4月1日～令和3年3月31日	教育課程編成委員会委員
井手 一夫	ペットサロン松山	令和2年4月1日～令和3年3月31日	教育課程編成委員会委員
鳥飼 和樹	K9Japan	令和2年4月1日～令和3年3月31日	教育課程編成委員会委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

（ホームページ）（広報誌等の刊行物） ・ その他（ ）

URL: [www.kawahara.ac.jp/ipet/](http://www.kawahara.ac.jp/ipet/)

公表時期: 2020年8月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

自己点検報告の評価を含めた外部評価委員の意見聴取に基づいて審議内容を整理し、学校運営に反映することに務め、審議内容については、公表事項を整理しすみやかに公表しなければならない。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているかなど
(2) 各学科等の教育	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているかなど
(3) 教職員	人事、給与に関する制度は整備されているかなど
(4) キャリア教育・実践的職業教育	学校における職業教育の特色は明確になっているかなど
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)など
(6) 学生の生活支援	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)など
(7) 学生納付金・修学支援	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているかなど
(8) 学校の財務	財務について会計監査が適正に行われているかなど
(9) 学校評価	自己点検・評価結果を公開しているかなど
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ、広報誌等の刊行物・その他( ) )  
 URL: [www.kawahara.ac.jp/ipet/](http://www.kawahara.ac.jp/ipet/)

授業科目等の概要

(文化・教養関係専門課程 トリマー学科) 令和3年度																
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
必修	選択必修	自由選択														
1	○		グルーミング理論	ベーシック作業全般、ハンドリング論ーベーシック作業の手順、道具の扱い、犬の扱い、テーブルマナーを学ぶ。	1年前後期	60	4	○			○	○	○			
2	○		トリミング理論Ⅰ	ペットクリップ全般ー道具の扱い、トリミング手順、犬種別トリミング方法を学ぶ。	1年前後期	60	4	○			○	○	○			
3	○		動物健康管理学Ⅰ	健康管理についてー健康チェック、体の仕組みと疾患、デンタルケア、感染予防、ワクチン、ノミマダニ、フィラリア、繁殖と助産、消毒、応急処置を学ぶ。	1年前後期	60	4	○			○	○	○			
4	○		スモールペット飼育学	猫と小動物についてー猫・ウサギ・ハムスター・フェレット・モルモット・小鳥・チンチラなどの飼育管理を学ぶ。	1年前後期	60	4	○			○	○	○			
5	○		愛玩動物飼養管理士論	愛玩動物飼養管理士2級合格を目指す。狂犬病予防法・動愛法・鳥獣保護法・AAE・AAA・HAB・飼養管理・動物愛護を学ぶ。	1年前後期	60	4	○			○	○	○	○		
6	○		グルーミング実習Ⅰ	ベーシック作業、基礎トリミング（爪切り、耳掃除、ベイジング、ドライイング、クリッピング、トリミング方法）を学ぶ。	1年前後期	480	16				○	○	○	○	○	
7	○		インターンシップ実習Ⅰ	企業理解のための指定動物企業へのインターンシップ実習（1年次 1日6時間×5日間を実施）	1年後期	30	1				○	○	○	○		
8	○		コンピューター実習Ⅰ	ワードの基本的な操作方法を習得する	1年前後期	60	2				○	○	○	○		
9	○		トリマーワーク演習	接客対応、スタンダードーカルテ作成、お便り、電話対応、モデル犬管理、各犬種スタンダード、血統書について学ぶ。	1年前期	30	1		○		○	○	○			
10	○		ペットショップ学	ペットショップにおける販売についてー販売、サービス、接客、ポップ、対応力、マナー、顧客管理、レイアウトを学ぶ。	1年前後期	60	2		○		○	○	○			
11	○		トレーニング演習	犬のしつけに関することー犬学（概論）歴史・行動学・トレーニングの基礎・社会化・パピークラス・問題行動に基づく対処・学習理論を学ぶ。	1年前後期	60	2		○		○	○	○			
12	○		就職実務Ⅰ	面接指導やナチュラルメイクやスーツの着こなしなど就職活動に必要な準備を行う。	1年通年	60	4	○			○	○	○			
13	○		トリミング理論Ⅱ	スイニング、ブラッキング犬種ースパニエル種、テリア種、Mシュナウザーのトリミング方法を学ぶ。	2年前期	30	2	○			○	○	○			

14	○		トリミング理論Ⅲ	シザーリング犬種（ショークリップ）ー プードルのショークリップ、ビションフ リーゼのトリミング方法を学ぶ。	2 年 後 期	30	2	○			○		○		
15	○		動物健康管理学Ⅱ	健康管理についてー健康チェック、体の 仕組みと疾患、デンタルケア、感染予 防、ワクチン、ノミマダニ、フィラリ ア、繁殖と助産、消毒、応急処置を学 ぶ。	2 年 前 後 期	60	4	○			○		○		
16	○		グルーミング実習Ⅱ	トリミング全般ーベーシック、トリミン グ、スピードトリミング、ケネル&ラム クリップ検定対策を実施。	2 年 前 後 期	720	24				○	○		○	○
17	○		造形美術	ケネル&ラムクリップのシザーワークー マネキンカット、トリミングの手順、シ ザーワークを学ぶ。	2 年 前 期	60	2	○			○		○		
18	○		ハンドリング演習	ハンドリングの基本ーテーブルマナー、 スタック、リードの扱い、犬の扱いにつ いて学ぶ。	1 年 後 期	30	1				○	○		○	
19	○		インターンシップ実習Ⅱ	就職希望企業へのインターンシップ実習	2 年 前 期	30	1				○		○		○
20	○		コンピューター実習Ⅱ	エクセルの基本技術を習得する	2 年 前 後 期	30	1				○	○	○		○
21	○		就職実務Ⅱ	面接指導など就職活動に必要な準備を行う	2 年 前 後 期	30	1				○	○	○		○
合計						21科目		2100時間（89単位）							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
・履修するすべての科目において、S・A・B・Cいずれかの評価を得ること ・原則として出席率90%以上であること （留意事項）	1学年の学期区分	前後期	
	1学期の授業期間	15週	

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。